

数字で見ると一目瞭然。意外と知らない 猫統計

vol. 高齢期の疾患

井上 舞 / アニコム損害保険㈱
 小動物臨床における疾患統計の詳細については
 アニコム 家庭どうぶつ白書
<http://www.anicom-page.com/hakusho/> を参照してください。

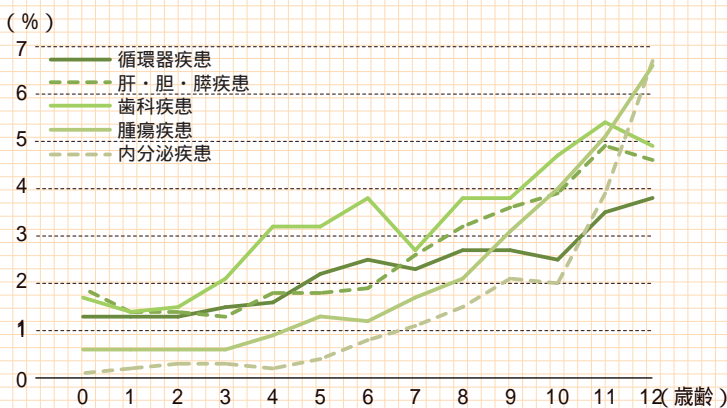
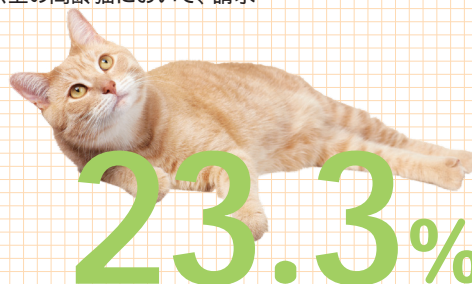


図1 加齢により増加する疾患の請求割合

2 012年4月1日～2013年3月31日までの間に、アニコム損保に契約した0～12歳までの猫46,848頭を対象とし、各疾患で請求があった猫の割合を年齢別に算出して、加齢とともに請求する割合が増加する猫の疾患を示した(図1、2)。
 また、0～6歳までと、7歳以上の高齢猫において、請求

数が多い順にみると、ともにもっとも多い請求理由は「腎不全」であったが、高齢猫では全疾患における割合が20%にも達していた。高齢猫では若齢期に比べ、糖尿病や心筋症、甲状腺機能亢進症、リンパ腫、肝炎、肺炎、乳腺腫瘍なども多くみられた。



23.3%

12歳齢の猫における「腎不全」による請求割合

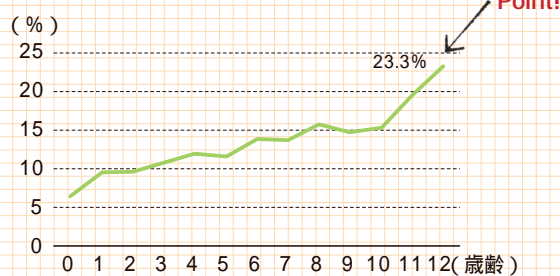


図2 猫の泌尿器疾患の年齢別の請求割合

0～6歳齢				7～19歳齢			
順位	傷病名	請求数(件)	割合(%)	順位	傷病名	請求数(件)	割合(%)
1	腎不全	5,585	5.3	1	腎不全	13,659	19.7
2	膀胱炎	5,536	5.2	2	糖尿病	2,513	3.6
3	外耳炎・外耳道炎	4,303	4.1	3	膀胱炎	2,240	3.2
4	軟便 / 下痢 / 血便	3,167	3.0	4	消化器系疾患	1,430	2.1
5	結膜炎 / 結膜浮腫	2,964	2.8	5	心筋症	1,311	1.9
6	消化器系疾患	2,785	2.6	6	甲状腺機能亢進症	1,224	1.9
7	嘔吐 / 下痢 / 血便 (原因未定)	2,564	2.4	7	胃腸炎	1,091	1.8
8	皮膚疾患	2,310	2.2	8	泌尿器疾患	988	1.6
9	胃腸炎	2,221	2.1	9	リンパ腫	963	1.4
10	腸炎	2,086	2.0	10	嘔吐	940	1.4
11	皮膚炎	1,922	1.8	11	肝炎	793	1.4
12	尿石症	1,756	1.7	12	皮膚疾患	790	1.1
13	嘔吐	1,530	1.4	13	鼻炎 / 副鼻腔炎	775	1.1
14	心筋症	1,438	1.4	14	外耳炎・外耳道炎	733	1.1
15	泌尿器疾患	1,412	1.3	15	皮膚炎	713	1.1
16	鼻炎 / 副鼻腔炎	1,326	1.3	16	便秘	704	1.0
17	外傷 (挫傷 / 擦過傷含む)	1,283	1.2	17	肝・胆道系疾患	701	1.0
18	皮膚炎 (アレルギー性)	1,199	1.1	18	口内炎 / 舌炎	687	1.0
19	呼吸器系疾患	1,161	1.1	19	歯周病 (歯肉炎 / 歯槽膿漏 / 歯垢 / 歯石含む)	644	1.0
20	胃炎	1,020	1.0	20	食欲不振	633	0.9
21	猫伝染性腹膜炎・FIP	1,008	1.0	21	胃炎	591	0.9
22	歯周病 (歯肉炎 / 歯槽膿漏 / 歯垢 / 歯石含む)	912	0.9	22	結膜炎 / 結膜浮腫	561	0.9
23	猫の下部尿路疾患・FUS・FLUTD	865	0.8	23	皮膚炎 (アレルギー性)	557	0.8
24	膀胱結石	815	0.8	24	呼吸器系疾患	548	0.8
25	食欲不振	814	0.8	25	尿石症	542	0.8
26	猫伝染性鼻管炎・FVR	777	0.7	26	軟便 / 下痢 / 血便	465	0.8
27	口内炎 / 舌炎	720	0.7	27	外傷 (挫傷 / 擦過傷含む)	463	0.7
28	眼科疾患	704	0.7	28	腎結石	459	0.7
29	膿皮症	702	0.7	29	肺炎	459	0.7
30	糖尿病	677	0.6	30	乳腺腫瘍 / 乳腺腫瘍	432	0.7

表1 0～6歳齢までと、7歳齢以上における保険金請求の割合順位

*図1、2、表1: 2012年4月1日～2013年3月31日までの間に、アニコム損保に契約した0～6歳齢までの猫43,212頭の請求105,764件および7～19歳齢までの猫12,415頭の請求69,331件を請求理由の多い順に示した(傷病分類のみで傷病名の記載がない請求は除いた)。

